

(別添7)

事業所名 グループホーム 大観苑

## 2 目標達成計画

作成日: 平成 24年 7月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時などの対応として、地域との連携、協力体制を作っていく必要がある。	消防訓練に近隣住民や家族の参加、見学を促し、災害時に対応できる体制を整える。	家族の面会や行事参加の際に消防訓練を行い参加、見学を促す。 地域運営推進会議等を利用し、消防訓練の結果報告や災害時の協力方法を伝えていく。	12ヶ月
2	18	入居者の方には自立支援の目的で自分では出来る限りしていただいている。しかし限られた環境の中で炊事、洗濯等マンネリ化している部分もある。新たな、活動の環境づくりを行い、利用者の潜在能力を引き出していきたい。	野外の活動環境の構築、利用者によっては出来る方とできない方がいらっしゃるの、利用者のレベルに合わせた個別的环境づくり。	ベッドで休まれることが多い入居者には、ベッド上でもできる、リハビリ、個別的レクリエーション等を担当職員を中心に考えていく。 ベランダ、屋上などを活用しプランターの整備などを行い、利用者に新しい環境づくりを行います。	6ヶ月
3	54	入居者の居室には馴染みの物を置き、入居者が以前から住んでいた、環境に近い状態を作るように心がけているが、入居者の方によっては、安全面を優先するため、居室内が殺風景になってしまう方もいる。	入居者の安全面を考慮しつつ、危ない物、そうでないものを見極めて、すべての入居者が過ごしやすい、安心できる居室環境づくりを行う。	写真やカレンダーなどを貼る際に画びょうなどを使用するが、誤飲や踏みつけなどで危険な入居者がいる。そのような方には両面テープなどを使用し危険を下げるようにする。	3ヶ月
4	29	市街地より離れた環境ということもあり、地域住民との交流が希薄になりがちである。これまで入居者が培ってきた社会資源や馴染みの関係を利用できる支援が必要である。	地域運営会議等を利用し、地域の行事や活動に参加できる支援を行う。	地域の特性や行事、風習等を把握する。 地域運営推進会議等を通じ、自治会、老人会などに参加、協力を行っていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。